

点を置いた予算を編成

を原案のとおり可決

平成 25 年度の「一般会計予算」および「水道事業会計予算」並びに「国民健康保険事業」、「下水道事業」、「介護保険事業」および「後期高齢者医療事業」の 4 特別会計予算の各議案は、2 月 28 日の本会議において 25 人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、付託しました。同委員会は、7 日、11 日、12 日、13 日に各分科会、22 日に座長報告および採決を行い、それぞれ原案のとおり可決しました。

(以下質疑、討論などの要旨を掲載)

一般会計

歳入予算は、個人市民税の給与所得減少などにより減額となるが、新築家屋などの固定資産税の増額、県と市町村間の税の配分見直しによる市たばこ税の増額などにより、市税全体では、約 2 億円の増額になる。また、税収不足を補てんする普通交付税は約 20 億円が見込まれるため、臨時財政対策債は、20 億円を発行することとしている。また、歳出予算では、市債残高の縮減により、公債費が約 1 億円の減額、下水道使用料の見直しによる

り下水道事業特別会計繰出金が約 2 億円の減額、はだのクリーンセンターの完成に伴い秦野市伊勢原市環境衛生組合への分担金が約 2.5 億円の減額となるが、介護・医療などの扶助費の増額と、各保険事業特別会計への繰入金を約 8.6 億円増額するなど厳しい財政運営を強いられている。

平成 25 年度予算は、災害や子育てなどに対する市民の安心はもとより、まちをもっと元気に、より魅力あるふるさと秦野を創造するため、「市民生活の安心と地域の活力に力点を置いた予算」として編成されている。

平成 25 年度各会計予算額

会計区分	平成 25 年度	平成 24 年度	増減額	前年度比
一般会計	462億円	445億4000万円	16億6000万円	3.73%
水道事業会計	31億3100万円	32億2300万円	△9200万円	△2.85%
国民健康保険事業特別会計	186億7700万円	178億400万円	8億7300万円	4.90%
下水道事業特別会計	58億円	72億3500万円	△14億3500万円	△19.83%
介護保険事業特別会計	98億4900万円	93億3200万円	5億1700万円	5.54%
後期高齢者医療事業特別会計	15億1100万円	14億5200万円	5900万円	4.06%
計	851億6800万円	835億8600万円	15億8200万円	1.89%

務会 総分科

政策部・市長室
財務部・くらし安心部
会計課・監査事務局
選挙管理委員会事務局
議事事務局・消防本部

固定資産税の滞納繰越分における歳入見込みについて
問 滞納繰越分が平成 24 年度に比べて増額となっているが、具体的な徴収の見直しはどのようか。

答 23 力所すべての避難所に防災備蓄倉庫を設置しているが、小・中学校の空き教室を利用しているのは 15 力所である。平成 25 年度に末広小学校と堀川小学校を整備するが、今後も学校と調整を図り進めていきたい。

防災備蓄倉庫の整備について

問 防災備蓄倉庫の多くは、小・中学校の空き教室を利用して設置しているが、整備の予定はどのようか。

答 23 力所すべての避難所に防災備蓄倉庫を設置しているが、小・中学校の空き教室を利用しているのは 15 力所である。平成 25 年度に末広小学校と堀川小学校を整備するが、今後も学校と調整を図り進めていきたい。

文教福祉分科

社 部
文 部
教 育 部
福 祉 部
こ ども 健 康 部
教 育 部



社会的居場所づくり支援事業について

問 平成 25 年度から貧困の連鎖解消のため、対象を生活保護世帯に限って高校進学などの学習支援を実施する。国は、生活保護世帯以外の子どもが一緒に参加することを認めることは差し支えないとしているが、対象を拡大することについての考えはどのようか。

答 県の見解は、一般世帯の子どもが参加することで、生活保護世帯の子どもの学習に一層の効果が十分に期待できることから認めたケースはあるが、特段の事情がない限り認められないとのことであった。

要望 生活保護世帯を対象を限定し、はだのこども館 1 力所のみで実施する事業運営には疑問が残る。事業に広がりが出るように取り組んでほしい。

はだのこども館の管理運営について
問 平成 24 年度に比べ管理運営費を約 3800 万円増額し、機能の充実を図るとのことだが、計画の内容はどのようか。

答 公共施設再配置計画により、市民活動サポートセンターや市民資料室が他の施設へ移転することに伴い、新たに集会室などに利用できるよう内装工事や備品を購入するほか、正面玄関前の駐車場を未就学児と保護者用の遊び場に改修する計画である。



プレイパーク設置予定の表丹沢野外活動センター

表丹沢野外活動センタープレイパークについて

問 平成 25 年度に用地取得することだが、プレイパークの内容はどのようか。

答 里地里山の自然環境を生かし、泥遊びや穴掘り、木製の道具を利用した遊びのほか、自然体験など子どもたちが自由な発想で遊ぶことができる冒険遊び場の整備をしていきたい。また、間伐材を使用した遊具を設置することで間伐材の利用普及の場にもしていきたい。

教育現場における指導と支援について

問 今日の社会において子どもたちに対する在り方というものは、指導ということではなく、支えていくということが主体になっていかなければならないと考える。教育委員会の姿勢として支援という基本的な理念で対応しなければならぬと考えるがどうか。

答 教育においては、必要な支援、適切な指導と両方の言葉を使っていくが、基本的には児童・生徒の内面をしっかりと捉えて、個に合った言葉かけや、学習の支援をしていくことが大切と考えている。

要望 現場においては常に支えていくという意識を持って教育支援に努めてほしい。

都市建設分科

建設部・都市部
下水道部・水道局



橋りよの耐震化について

問 東日本大震災は、東北地方などのインフラに甚大な被害を及ぼしたが、本市の橋りよの耐震化はどのように進めていくのか。

答 橋りよの耐震化計画は検討を始めたところであり、整備の優先順位などは決まっていないが、防災計画において、災害時の緊急搬送路に指定されている富士見大橋は、最優先で耐震設計を行う。

高速バスについて

問 平成 25 年 3 月 16 日から羽田空港への高速バスが東名秦野バスストップに停車することになった。路線の維持・充実を図るためには多くの人が利用してもらうことが重要であると考えるがどうか。

答 PR 用チラシの作成や秦野駅南口にポスターを掲示するなど周知に努めており、25 年 2 月 1 日から駐車場を無料で利用できるようにするなど、利用促進を図っている。今後は、駐車場の舗装工事を行い、将来的にはタクシー乗降場の設置や近接する路線バスの停留所との一体的な有効活用が図れるよう整備を考えていきたい。

都市計画道路の見直しについて

問 整備の見込みのない路線や新たに必要になると思われる路線など、見直しが必要と考えるがどうか。

答 平成 18 年度に見直しについて着手し、22 年 9 月に都市計画道路見直しの基本的考え方を策定した 25 年度には、見直し計画案を策定

する予定である。また、新東名高速道路秦野サービスエリア(仮称)のスマートインターチェンジ設置に向けた取り組みと合わせ、将来都市像に対応した道路交通網の再構築を検討していきたい。

鶴巻温泉駅南口の周辺整備について

問 平成 25 年度の鶴巻温泉駅南口広場と周辺整備の取り組みはどのようか。また、駅施設改修に伴う南北自由通路の整備はどのようか。

答 南口広場は、事業用地を取得し、周辺整備は、土地区画整理事業などに取り組んでいく。また、駅舎などは、南口周辺整備の事業費や効果を考えた中で、今回は、南北自由通路や橋上駅舎化の整備は行わないが、橋上駅舎とほぼ同等の機能を持ち、駅前広場周辺の踏切の乱横断や県道での人と車の両の交差などの課題を解決する方策として、本市が県道立体横断施設を整備し、小田急電鉄が既設の跨線橋を架け替え、南口橋上改札口を設置する計画である。



安全で便利な整備が求められる鶴巻温泉駅

討論

▼反対討論

次の事業などに予算計上していることなどから反対する。

- ① 具体的な計画がない西部総合職業技術校東側の元大秦野高校テニスコート跡地の取得予算
- ② 活用計画のない平沢第 1・第 2 市営住宅跡地整備関連事業費
- ③ 環境破壊につながる新東名高速道路建設関連の予算
- ④ 代替え施設も整備されない公共施設再配置推進事業費